

1 単元名 球技ゴール型 (バスケットボール)

2 単元の目標

- 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようにする。 (技能)
- バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする
こと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。 (態度)
- 技術などの名称や行い方, 体力の高め方, 課題解決の方法を理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (知識, 思考・判断)

3 単元について

(1) 教材観 (男子*名, 女子*名, 計*名)

バスケットボールでは, 基本的な技術を反復練習により身につけることで, 生徒の積極的なプレイにつながる。そのため, 反復練習を飽きさせないように毎回工夫して指導する。また, 基本的な技術を身につけた上で, チームで声をかけ合うことや, 自分から動くこと, 仲間と話し合い活動をするなど, 課題を解決していく力に発展するよう指導する。

(2) 指導観

入学年次では, ボールを運ぶ技術がとても上達した。しかし, シュートの成功率の低さや, ボールを持っていない時の動きなどに課題があるため, 得点につながる展開を習得させたい。また, 常に「チームとして」何をするのかをお互い話し合い考えながらゲーム展開できるように, しっかりと話し合う時間を確保して指導したい。

4 単元の評価規準 (学習活動に即した評価規準)

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
①基本的な技術の練習に ◎常に主体的に取り組 もうとしている。 (観察)	①自己のチーム状況や 相手チームの特徴を 踏まえ◎適切な作戦 や戦術を選んでいる。 (観察・学習カード)	①状況に応じたシュ ートを◎適切に選 びシュートを決め ることができる。 (観察・学習カード)	①基本的なドリブル・ パス・シュートの種 類の名称を◎正しく 理解している。 (学習カード・評価シ ート)
②課題解決に向け互いに 助け合い◎積極的に学 び合おうとしている。 (観察)	②自己や仲間の課題に 応じた練習方法を◎ 積極的に見付けてい る。 (観察・学習カード)	②一人で攻めるだけ ではなく◎状況に 応じて, 周囲を使っ たプレイをするこ とができる。 (観察・学習カード)	②ディフェンスの種類 や特徴を◎正しく言 ったり, 書き出して いる。 (学習カード・評価シ ート)

◎下線は十分に満足できる姿

5 指導と評価の計画（10時間扱い）

○指導の機会 □ ← 観察の 評価の機会（期間）

段階	時間	主なねらい，学習活動	評価計画			
			関意態	思	技	知
はじめ	1	○状況に応じたボール操作とシュートを身につけて，ゲームを行えるようになるろう。				① カ
	2	1 オリエンテーション 2 ハーフコートのゲーム練習を通してボールに慣れる 3 ゲームを想定した動きをチームで確認する	① ↑			
なか	③	○チームの課題に応じて作戦や練習方法を工夫し，課題解決のために一人一人が動けるようになるろう。			① ↑	
	4	1 基本練習 ・パス練習 ・ドリブル練習 ・セットシュートの練習 ・レイアップシュートの練習	1 ↓ 観			
	5	2 チームごとに課題練習 ・話し合いの時間を確保する ・準備物等を使いながらチームで練習 3 試合（簡易ルール）			1 ↓ 観・カ	
	6			① カ		
	7		② ↑			② カ
まとめ	8	○リーグ戦，学習のまとめ	2 ↓ 観		② ↑	
	9	1 チームごとに課題や作戦を設定し，練習をする 2 リーグ戦（5分間・6対6）3試合 3 チームで話し合い 4 リーグ戦の続き（5分間・6対6）3試合		② カ		
	10				2 ↓ 観・カ	

6 本時の展開 (3/10)

(1) 本時の目標

○状況に応じたシュートを適切に選びシュートを決めることができる。 (運動の技能)

(2) 準備・資料

ミニホワイトボード, 学習カード, タブレット型PC

(3) 展開 ※ 本時では「運動の技能」を主として評価する。

学習内容・活動	指導の手立て・評価
<p>1 挨拶・出席確認・健康観察</p> <p>2 前授業の確認</p> <p>3 本時のねらいの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>得意なシュートを確実に決められるようにしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容を振り返り, 本時のねらいを確認させる。 ・本時のねらいを確認した上で, ミニホワイトボードに各チームの目標を記入させ, ホワイトボードに貼らせる。
<p>4 準備運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捻挫, 突き指等本時の授業で予測される怪我を意識して手首足首, 指等のストレッチを入念に行わせる。
<p>5 反復基礎練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ランパス5往復(時間を計測)
<p>6 チームごとにシュート練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セットシュート ・レイアップシュート ・ジャンプシュート 	<ul style="list-style-type: none"> ・シュートをする上でどこを狙ってシュートしているのかなぜシュートが入らないのかを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> → 得意なシュートや入りやすいシュートは何かを意識させる。 → iPadを活用して, 自分のフォームを確認しても良いとする。
<p>7 10本のシュート成功率を求めて, 学習カードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームのマネージャーを中心に10本シュート成功率を記入させる。 <ul style="list-style-type: none"> → 今後シュート成功率が上がっていくことが大切だと全体に声かけする。
<p>8 チームごとに話し合い, 得意なシュートに繋がる練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回成功率が上がるためにはどうすればいいのかを話し合わせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>状況に応じたシュートを適切に選びシュートを決めることができる。【運動の技能】</p> </div>
<p>9 リーグ戦の進行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャプテンに練習メニューを渡して, チームごとの練習に取り組みさせる。
<p>10 本時のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リングに当たれば1点ルールを採用(簡易ルール) <ul style="list-style-type: none"> → パスは女→女→男で回すようにする。(約束ルール) ・目標達成度は, ミニホワイトボードを見ながら学習カードに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> → 得意なシュートは見つかったか。 → 試合の中で, 得意なシュートを決めることはできたか。